

## 投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 ( 4 3 9 9 )
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 4 億円
		特定交通安全施設等 整備事業 (一)物部養父線	朝来郡和田山町和田山		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
朝来郡和田山町和田山				平成 13 年度	平成 14 年度

事業目的	事業内容
<b>交通安全対策</b> ・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し、歩車分離を図り、交通安全対策を推進する。 健康福祉社会の実現 ・福祉のまちづくり重点整備地区でバリアフリーな歩行空間を整備する。	自転車歩行者道整備 L = 1 8 0 m W = 3 . 0 m

評価視点	評価内容
(1) 必要性 快適性・ゆとり  その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量 (自動車 4,594 台/日、歩行者 131 人/日、自転車 227 台/日)</li> <li>・学童・園児の交通量 (53 人/日)。</li> <li>・過去 5 年間の歩行者・自転車の交通事故件数 (17 件)。</li> <li>・死傷事故率が高い。(637 人 / 億台 km)</li> <li>・JR 和田山駅(60m)、和田山町役場、駅前保育所(約 300m)等が立地。</li> <li>・市街化区域内、福祉のまちづくり重点整備地区での事業。</li> <li>・枚田小学校の通学路に指定されており、高校生等の通学路として利用されている。</li> <li>・幅広歩道の整備及び連続性確保。</li> <li>・前後の整備状況・・・両側整備済み。</li> <li>・地元からの事業化に対して要望あり。</li> <li>・和田山町施行のコミュニティゾーン形成事業と連携し快適でゆとりのあるまちづくりに資する。</li> </ul>
(2) 有効性・効率性 有効性  効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。</li> <li>・和田山町施行のコミュニティゾーン形成事業と一体的に施行。</li> <li>・円滑な用地取得に向けて、和田山町と用地取得体制に関する協議済み。</li> </ul>
(3) 環境適合性	透水性舗装の採用、別途電線共同溝の整備を図る。
(4) 優先性	当該箇所は、近接して JR 和田山駅等の集客施設があり、福祉のまちづくり重点地区内にあり、障害者をはじめ多様な通行状況である。その上、過去 5 年間に歩行者・自転車の交通事故が発生しており、枚田小学校の通学路にも指定されている。このため、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。

評価の結果	着手妥当	左	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	---	----------------------